

FLEX SHOW AIKAWA Racing with TOYO TIRES

アジアクロスカントリーラリー2024(AXCR) 劇的な大逆転でクラス優勝を飾る!!

5年ぶり参戦で前回の屈辱を晴らし悲願を達成!! (哀川翔 総監督/川畑真人選手)

俳優 哀川翔が総監督を務める FLEX SHOW AIKAWA Racing with TOYO TIRES (Driver 川畑真人 Co Driver Daychapon Toyngcharoen) は、「アジアクロスカントリーラリー (AXCR) 2024」(8月11-17日タイ王国スラタニ-カンチャナブリ) に参戦し、LEG5 (SS5) まで 19 分差の 2 位から、LEG6 (SS6) 最終 SS で大逆転を果たし、僅か 1 分 27 秒差をつけてクラス優勝を飾りました。

前半スラタニからチャム・ホアヒンまでの SS1-SS3 までは、苦闘の連続で幕を開けました。ショックアブソーバーの不具合は、深夜を乗り越えて夜を徹して FLEX メカニックと中央自動車大学の学生職員が作業に及んだものの中々改善せず、遂に SS2 ではリヤサスペンションが破損してしまいました。また初の AXCR に臨んだ Daychapon 選手も慣れないロードマップ (コマ図) に苦戦、ミスコースも続出し、クラス 6 位、総合順位も 30 位以下に落ちてしまいます。

しかし、ここで望みが出たのは、後半の SS が走行不可悪路によりキャンセルになったことです。これにより SS2 終了時点で、新たに急遽取り寄せたショックアブソーバーに交換して SS3 に臨みました。しかし、SS3 でもトラブル発生。リアサスペンションのダンパー下部をホーシングに取り付ける、ステア部分の破損脱落してしまいました。チームは一時 Day リタイヤも考えましたが、川畑真人選手の走り切る決意と、メカニックによる徹夜の作業によりリアのサスペンション周りをホーシングごと ASSY (まるごと) 交換し走ることを決意します。

そして、SS4。今回最も距離が長く、また過酷なヒルクライムが待ち受けている難所コースです。ここで、潮目が変わります。LEG 4 のスタート直前にローレンジギアの修理を完了させました。この修理は、急勾配のヒルクライムにおいて絶対に必要な装備となるため、重要な処置になりました。ミスコースは依然あるものの冷静な判断で最小限に収め、これにより、クラス 2 位、総合でも 23 位につけました。ただし、クラス 1 位とは 35 分の差がありました。

勝負の SS5 はカンチャナブリ-カンチャナブリの 228 キロに及ぶ比較的フラットダートが続くコース。車両も SS4 以降不具合も解消、多少のミスコースや果敢に攻めた結果による破損はあるものの、川畑選手得意なフラットダートを果敢に攻め、クラス 2 位は変わらなにももの、19 分差まで詰めることができました。この 19 差に詰めたことが、最終短いながら SS6 に生きることになります。

そして、運命の 87 キロ SS6 を迎えます。後続の車両とも 1 分差ということでしたが、川畑選手は、攻めることを決めます。前車クラス 1 位の車両が見えない中、焦る気持ちをなんとか落ち着かせましたがミスコースもあり、フィニッシュした時には走り切った達成感と少し肩落として両選手は車両から降りました。しかし、前車クラス一位を走っていた車両が戻ってきません。

その後 10 分 15 分と過ぎ、20 分近くになって戻ってきます。速報値で計算すると、なんと、1 分 30 秒差程度で勝っていることがわかり、俄然チーム内が静かにエキサイトしていきます、徐々に確信に変わっていきます。

そして、それから数時間後ヘッドクォーターに正式にリザルトが張り出され、1分27秒差でクラス1位が確定し、表彰式パーティーでクラス1位のトロフィーが授与され、哀川翔総監督とチームは歓喜の輪となり、5年ぶり屈辱を晴らし、栄冠を勝ち取りました。

また総合順位でも、メーカーワークス勢やハイパワーの強豪(T1D)がいる中で、12位と堂々たる結果を残すことができました。

哀川翔総監督、川畑真人選手、Daychapon選手、中央自動車大学校/FLEXメカニック、FLEX girl、スタッフ、メディアチーム、と全員が一致団結した勝利となりました。

ご支援いただいたスポンサー各位、ご関係者各位のご協賛ご支援ご協力がなければ到底2100kmを走破し、勝つことは叶いませんでした。本当にありがとうございました。

次戦は、XCR スプリントカップラリー北海道(9/6-8)連覇を目指し、新型車両三菱トライトンで熱い激しい戦いがさらに続きます。

各位、一層のご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

哀川翔総監督「チーム一丸となった勝利です。2011年から始めてようやくつかんだ勝利となりました。感無量です。まずはみんなにお疲れさま、そしてありがとうございました。」と喜びを語りました。

FLEX SHOW AIKAWA Racing チームマネージャー プロデューサー 株式会社 ICS 吉岡市雄

Eメール flex_racing@magicaltv.net TEL090-3572-8239

FLEX SHOW AIKAWA Racing with TOYO TIRES チームディレクター フレックス株式会社 荒行浩

・チームご協賛ご協力会社様(順不同)

TOYO TIRES(TOYO TIRE 株式会社)様/ FLEX(フレックス株式会社)様/ e投票(株式会社 グラント)様/ MG(株式会社 クリムソン様)/grace(株式会社 雅)様/タイヤワールド館 BEST(三光産業株式会社)・タカハシタイヤ(株式会社高橋商事)様/株式会社グーニーズワン様 /ORC(小倉クラッチ株式会社)様/ PIAA 株式会社 様/ SEV(株式会社ダブリュ・エフ・エヌ)様/ 中央自動車大学校(CTS)様/レッツゴー4WD 様/sparco(エンパイヤ自動車株式会社)様/ 株式会社 トノックス 様/株式会社 HAL 様 / 株式会社インクス様/ 株式会社プロジェクト・ミュー様/クローム・インダストリーズ合同会社様/ KEEN 様/有限会社 ボティークスミッション様 /株式会社エクストリーム様/TONE 株式会社様/ Gulf JAPAN 様/ TCL アドバンス 様 / HIS(株式会社エイチ・アイ・エス)様/BRIDE(ブリッド株式会社)様/ JAOS(株式会社ジャオス)様/TRUST(株式会社昭和トラスト)様/ OS GIKEN(株式会社オーエス技研)様/ Coleman (ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社)様/株式会社エスアンドカンパニー様/ BINGO 様 /アートファクトリー様/SENA 様 / 株式会社 ヒルトップ様/ 株式会社 奥原商会様/ 帯広三菱自動車販売株式会社様/ALLPATTAYA 様/DAKE 様 /SEL. INC. 様/北海道 一般社団法人スポットウォーキング様, 北海道有志の個人団体様(一部は予定)(他のカテゴリーラリーも含む)



(お問い合わせ)

FLEX SHOW AIKAWA Racing チームマネージャー プロデューサー 株式会社 ICS 吉岡市雄

Eメール flex_racing@magicaltv.net TEL090-3572-8239

FLEX SHOW AIKAWA Racing with TOYO TIRES チームディレクター フレックス株式会社 荒 行浩







